

生徒指導部

部長： 松岡 副部長：山本

(1) 今年度の目標

規範意識を持ち、自主的・自律的な態度で学校生活を送れる生徒を育てる。

(2) 主な取り組みの計画

- ①週番活動を行い、環境の整備と基本的な生活態度を育成する。
- ②全校集会で講話を行い、自主的・自律的な生活態度を育成する。
- ③服装検査を行い、服装の整備を図る。
- ④校門指導を行い、挨拶の励行、服装の整備を図る。
- ⑤講演会（自転車関係、薬物乱用防止、携帯電話関係）を行い、規範意識の向上を図る。
- ⑥交通指導を行い、交通安全の意識向上を図る。
- ⑦遅刻生徒に対して、早朝登校指導を行い、基本的な生活習慣を育てる。

(3) 成果

- ①学級長は決められた役割をきちんと行っていた。
- ②生徒の話聞く態度もよく、意図することは十分に伝わったと思われる。
- ③昨年に比べておおむね良くなったと思う。1年生の女子のスカートが夏以降短くなった生徒がいた。
- ④正担任にも当番になってもらい生徒の様子を見てもらった。検査の結果を担任に報告するようにした。
- ⑤1年生の入学後間もなく4月に交通安全教室を行った。シュミレーターを使うなどし、効果の高いものが行えた。
- ⑥外部からの苦情は少なくなってきた。少しずつ交通マナーも良くなってきたと思う。
- ⑦ほとんどの生徒が遅刻無く登校して来ているが特定の生徒が遅刻を繰り返している。

(4) 課題と次年度以降の改善策

- ①学級長の呼びかけに周りの生徒協力が得られず、ゴミ捨てや窓閉め等ができていないクラスがあった。その週の担当教員に任せて生徒指導部の教員ももっと積極的に関わっていきたい。昼休みの校内巡回も考えていきたい。
- ②講話の内容を、生徒の自主・自律的な生活態度が養えるように、より充実したものに

していく。

- ③違反を繰り返す生徒は少ないが、服装検査後の事後指導を担当と連携をとりながら行っていきたい。
- ④違反を繰り返す生徒の事後指導を担当と連携をとりながら行っていく。
- ⑤警察や関係機関の協力を得て、生徒が興味を持ち、効果の高い講演会をおこなう。
- ⑥交通事故の件数を少なくするように集会やHR等で機会を多く作り、生徒に指導をおこなう。学校周辺の自転車の通行方法について説明を行い、安全に通行できるように指導する。無施錠の自転車が増えてきたので、施錠をするように指導する。
- ⑦基本的な生活習慣を身につけさせるために、粘り強く指導していく。遅刻を繰り返す生徒については保護者の協力も得て指導していく。